



2015  
秋冬号  
No.11

特集

# 千年の時を超えゆく 森をつくる。

君津市

千葉 物語の散歩道

## 物語と里見氏の歴史が交錯する 「南総里見八犬伝」の舞台。

HOUSING 住宅

## 毎日使うトイレは、安全・快適・清潔で 使いやすく。

快適な暮らしのために配慮されたトイレにする。



2015 ● 秋・冬号 No.11

# contents



久留里城の天守閣からの眺め 久留里城の天守閣は、標高145メートルの急峻な丘の上にある。天守閣の最上階からは、雄大な山並や城下町、田畑のパノラマが望める。



表紙写真:久留里城

久留里城は築城後に不思議と雨が続いたという伝説があり「雨城」の別名を持つ。中世には里見氏、近世には大須賀、土屋、黒田氏といった数々の城主の居城となった城だ。明治5年に廃城となり城の建物は解体されたが、昭和53年、地元をはじめ多くの人々が望むなかで、本丸跡地に天守閣が再建され、翌年には二の丸跡地に資料館が完成した。久留里城は君津市の次世代に伝えたい20世紀遺産に指定されていると共に、千葉眺望百景にも登録されている。

## 04 きずな特集

### 千年の時を超えゆく森をつくる。

君津市

## 08 久留里の生きた水で仕込む

### 県下最古の蔵の大吟醸酒

## 10 千葉 物語の散歩道

物語と里見氏の歴史が交錯する

### 「南総里見八犬伝」の舞台。

## 14 HOUSING 住宅

毎日使うトイレは、安全・快適・清潔で使いやすく。  
快適な暮らしのために配慮されたトイレにする。

## 16 いきいきヘルシーアップ

年齢に関係なく夢中になれる

習志野市発祥「ユニバーサルホッケー」

## 18 健康度チェック&チェック

第11回 生活習慣病の予防がボケ防止に! 脳年齢セルフチェック

## 20 暮らしのマナー情報

外貨預金

## 22 エコスマートなまちに学ぼう

私たちの明日が見つかる「千葉のエコ」(市原市)

## 23 育てる 味わう 楽しむ ベジタブルライフ

第3回「ミニダイコン」

好きだからここにいます。千葉がふるさと

君津市

きずな特集

# 千年の時を超えゆく 森をつくる。

ちば千年の森をつくる会



「鍵のかかる島」と呼ぶ人がいる場所。房総半島のほぼ中央部、小糸川の源流部の豊英湖とよふさこに浮かぶ豊英島とよふさしまだ。江戸中期の新田開発を目的とした川廻しかわまわしによって、島の周囲は水田となっていたが、昭和44年に豊英ダムの完成によって現在の姿となった。島へ渡る吊り橋には鍵がかけられ、ふだんは人が立ち入れない。その環境のおかげで、昔の貴重な自然の姿が残ったと考えられている。多種多様な樹木に加えて、林床には四季折々の草花も豊富だ。県内でもここで見られない珍しい動植物が少なくない。島の希少な自然の研究と保全に取り組んでいるのが「ちば千年の森をつくる会」。2003年の第54回全国植樹祭の関連行事として行われた「多様な森づくりを目指したワークショップ」の参加者が中心となって発足した集まりだ。生物多様性を保全し、超長期の森づくりを実践するために、毎月1回集まっては、植物、動物、野鳥、野生キノコなどの調査を実施する。千年の時を超えて森を守る挑戦が続けられている。





ここにしかない森を守るのは  
自然と仲間を愛する気持ち。



## 熱意ある保全活動で 本来の森が姿を現した

豊英島とよふきじまは東京ドーム2個分の広さがあり、周囲を一回りするとも1時間ほどかかる。「島全体に竹がびつしりと繁茂していたので、その竹を伐採する作業から活動が始まりました。手入れを行った結果、少しずつ本来の森が姿を現してきました」。会の事務局長・伊藤道男さんはそう語る。千葉県職員として森林関連業務に携わってきた経験から、豊英島の自然の希少性に気づいた。「森のワークショップとしてみんなで手入れをしたら、どのような山になるか実験をしてみました」。豊英島は海拔200mほどで周囲をダム湖に囲まれているため、気候は冷涼だ。その影響で千葉県の南と北の植物が共存して、多様な生態系を形作っている。貴重な環境を研究対象として、班にわかれて植物調査や野鳥観察などの活動を行っている。「この会の特徴は、県内各地から参加する人たちが、森の整備や、動植物調べに熱心な人たちばかりであること。それに加えて、工作作業を得意とする人たちも揃っていることで、竹などの伐採や、テントやトイレなどの製作もしています。両者が協力することで、森が保たれているのです」というのは前代表の

真鍋昌義さんだ。貴重な自然を損わないように、活動は慎重の上に慎重を重ねている。県内に80本しかない絶滅危惧種のヒメコマツを、この島に植樹した際には、その是非についてメンバー同士で激論が交された。保全活動に対する姿勢は真剣そのものだ。



## 楽しみながらの活動で 学術的な研究を支える

この日行われたのはキノコの観察会。講師は県立中央博物館でキノコ研

究を行う吹春俊光ふきはるさんだ。「キノコ研究はしっかりと森がないとできません。その点でもこの森は非常に貴重な存在です」。参加者たちが島内各所でキノコを採取。集まった46種類のキノコについての吹春さんの解説に熱心に耳を傾け、メモを取る。「地元の人しか知らないようなキノコもあり、とても興味深いですね。これが千葉県のもともとの自然かと思うとワクワクします」と千葉市の公務員の降幡治幸ふるはたさん。アウトドアや植物などの趣味を通して、幅広い年齢や職業の人と話すことを楽しんでいく。同じく会の活動を通じて仲間ができたというのは、市原から参加している山口衛さんだ。

「木の伐採など日ごろ体験できないことにも挑戦できます。この会は学術的にも学ぶことができ、知的好奇心にも刺激されます」と楽しそうに語る。実際にこの島で研究を行い、学術論文と

して発表した人もいる。東京大学大学院のミ・ルインさんは、3年がかりでクロムヨウランという植物が菌類と共生する関係を研究し、修士論文にまとめた。「クロムヨウランの生育に最適な素晴らしい環境に驚かされました。いきいきと活動する会員の皆さんの協力があつてこそ、研究ができたと感じています」。

一般参加した加藤恵美子さんは「数百年の時間をタイムスリップしてきたような森」と表現する。自然に関するブログを運営する加藤さんは、生き物と樹木、菌類などが密接に関わりながら共存するこの島に、強い魅力を感じるといふ。「ここにしかないような動物がたくさんあります。これを守るために会の活動には期待しています」。

こうした会の活動を縁の下の力持ちとして支えるのが、3代目の代表を務める久我哲也さんだ。この地でシイタケやナラタケの栽培に挑戦している。素人からスタートして、技術が向上した。「四季の移り変わりが美しく、自然と笑顔が出る素晴らしい環境のなかで、仲間作りや研究など、みんなが和気あいあいと楽しんで欲しいと思います」。千年の長きにわたり森を守るのは、自然や仲間を愛する心だと、この島は教えてくれる。



# 久留里の生きた水で仕込む 県下最古の蔵の大吟醸酒

5軒の蔵ごとに異なる  
水の味が酒の個性になる

「平成の名水百選」の一つである「久留里の水」は、その美味さとともに、有用な成分を含む水質の良さから「久留里の生きた水」とも称される。君津市内にある三石山系に降る雨が、長い年月をかけてろ過されて地下水脈を通り、上総掘り※という方法で掘られた井戸から豊富に噴出する。町の至るところにある井戸には、遠方から水を汲みに来る人が後を絶たない。久留里の町周辺には5軒の酒蔵があり、この水を使って酒を造る蔵のひとつが、県下でも最古の蔵である吉崎酒造で、「吉壽」の銘柄で親しまれている。創業は1624年



というから間もなく400年にも及ぶ。酒蔵は明治の後半に建てら



れたものが今もそのまま使われている。「同じ久留里のなかでも井戸によって深さが違うため、湧き出す水の成分も変わります。5軒の蔵の水もそれぞれ味わいが異なるんです」と教えてくれたのは、35歳で17代目当主となった吉崎明夫さん。吉崎酒造の水は地下500メートルから噴き出し、やさしくやわらかな味わいだ。その水で仕込



まれた大吟醸「月華」は、すっきりとした飲み口だが、しつかりとした旨みと華やかな吟醸香が口の中に広がる。

吉崎さんは蔵を継ぐと決めてから、それまで造っていなかった大吟醸や純米酒づくりに挑戦してきた。昔ながらの酒造りを守りながらも、付加価値のある新たな試みをしなければ、生き残れないとの危機感からだった。君津市では昨年10月に「君津の地酒で乾杯を推進する条例」が施行されたが、それをきっかけに吉崎さんは試行錯誤を繰り返して、乾杯にも使える、発泡する日本酒をつくり上げた。挑戦を後押しするのは「少しでも日本酒に親しむ人を増やしたい」との思いだ。名水の町を盛り上げるために、毎年10月の「久留里城まつり」では、蔵の敷地を琴の演奏やお茶の野点などの会場に提供する。久留里の水と酒を守り、後世に残していくために何ができるのか。吉崎さんは模索し続けている。

君津市久留里地区の清酒  
豊富な名水を  
すべての工程で



吉崎酒造の酒をつくるのは、毎年秋の終わりに岩手からやってくる南部杜氏。大吟醸の「月華」は酒造好適米の代表格である山田錦を40%まで精米することで、雑味を廃した味わいを醸し出している。酒造りでは米を洗い水に浸けてから蒸し、櫛入れなどの昔ながらの作業を行いながら仕込んで瓶に詰めるまで、すべて同じ水で行うのが鉄則。それだけに味だけではなく水量にも恵まれた久留里の水は、まさに名水の名に値する。吉崎酒造ではこのほか、千葉県産の酒造好適米を使った純米吟醸酒も造っている。その年の仕込みの前には、神主を呼んで蔵での折禱を欠かさないという。

当主の吉崎明夫さん(写真中央)



吉崎酒造  
〒292-0421 千葉県君津市久留里市場102  
TEL 0439-27-2013  
<http://kichiju-gekka.com/>



# 物語と里見氏の歴史が交錯する 「南総里見八犬伝」の舞台。

南総里見八犬伝は曲亭馬琴が48歳から28年の歳月をかけて書き上げた、全106冊にもおよぶ江戸後期の戯作文学の大傑作です。勸善懲惡がテーマの波瀾に富んだ歴史口マンは庶民に大きな人気を博し、現在も映画、テレビドラマ、マンガなどで親しまれています。今回は八犬伝の中心的な舞台となった南房総で、物語の世界を訪ねます。

## 館山城からみた鏡ヶ浦

天守閣からは館山市街と、鏡ヶ浦と呼ばれる館山湾が広がり、しばし時を忘れます。



写真提供:南房総市

## 富山からの眺め

北峰(349m)と南峰(342m)の二つの山頂をもつ富山。頂上からは東京湾が見下ろせます。登る場合にはしっかりとトレッキングシューズなどを着用しましょう。



伏姫八房像

## 伏姫と八房が住んだ洞窟が今も残る富山

文字数では源氏物語の2倍にもなるという南総里見八犬伝。長大な物語の最初の大きな山場は、自害した伏姫の数珠から8つの玉が飛び去って行く場面でしょう。その伏姫が籠もっていたとされる洞窟がある富山(※原作ではとやま)から、今回の旅をスタートさせましょう。富山は北峰と南峰の二つの山頂を持ち、ハイキングコースとしても知られる山。伏姫籠窟への入口となる山門までは車でも行けますが、そこから先は徒歩。山門をくぐるとまず見つけるのが、八房を祀ったとされる犬塚です。八犬伝はもちろん馬琴の想像力の産物で、物語と史実の間には多くの違

### あらすじ

室町時代後期、安房

国の領主・里見義実が愛犬の八房に「敵将の首を獲ってきたら娘の伏姫を与える」と戯れに告げたことから、伏姫と八房は夫婦として富山の洞窟に籠ってしまいます。自害する運命となった伏姫が持つ数珠から、8つの玉が宙に飛び去ります。家臣の金碗大輔は玉を捜すために出家して全国を行脚し、玉を持つ8人の剣士との運命的な出会いを果たします。集結した八犬士は一致団結して、里見家の危機を救うという物語です。



## 伏姫籠窟山門

籠窟へと続く道の入口につくられた山門は風情に満ちています。





### 滝田城址

物語の序章の舞台となった滝田城は、遠見山という山の上にあります。上りきったところには展望台がありますが、現在は立ち入りできません。  
●南房総市上滝田



南房総や館山には、里見氏ゆかりの地が数多く点在します。犬掛古戦場は里見氏が骨肉の争いを演じた場所。今のはどかな田園風景が広がる「兵どもが夢のあと」という句を思い起こさせます。八房が敵将の首を獲ってきた舞台となった滝田城は、物語では里見

### のどかな田園地帯に残る兵どもが夢のあと

いもがあります。八房も架空の存在ですが、犬塚や伏姫籠窟が残されているのは、物語の熱烈なファンがいたという証でしょう。伏姫籠窟までは200段ほどの階段を上らなければなりません。さらに北峰、南峰に続く山道はアップダウンが激しく、健脚の人にも少しきついコース。人を寄せ付けまいとする伏姫の思いが伝わってくるようです。富山には、八犬士が余生を過ごしたとされる、「南総里見八犬士終焉の地」もあります。



### いぬかけ 犬掛古戦場

八犬伝は里見家の内紛を予見した八犬士が、忽然と姿を消して終わります。その血族同士が戦う舞台となったのが犬掛古戦場。近くには里見義通・義豊の墓や八房の像などがあります。

### ふせひめろうくつ 伏姫籠窟

伏姫と八房が暮らしたとされる洞窟。内部には8つの玉が飾られています。





## 館山城・館山市立博物館本館(城山公園)

館山城は1591年に里見氏の本拠となりましたが、江戸時代初期に廃城となりました。館内にはNHKで放映された人形ドラマ「新八大伝」の貴重なビデオが放映されています。博物館では、170年にわたって安房国を治めた戦国武将の里見氏と、安房の歴史や民俗が紹介されています。日曜・祝日には甲冑の着用体験も行われます。

- 開館時間 9:00~16:45 入館は16:30まで
- 定休日 月曜(祝日の場合は開館し、翌平日は休館)、年末年始
- 観覧料 一般300円(250円) 小学生~高校生150円(100円)
- ※館山城と館山市立博物館本館は共通入場券 ※カッパ内は20名以上の団体料金 ※特別展開催中は別料金
- 館山市館山351-2 城山公園内 ●0470-23-5212



## 延命寺

この寺ではベストセラーとなった絵本「絵本地獄」のもととなった市指定文化財「地獄・極楽絵図」を所蔵。毎年8月の公開日には多くの見学者が訪れます。

- 南房総市本織2014-1
- 0470-36-2166



## 道の駅とみうら 枇杷倶楽部

2000年に全国道の駅グランプリで最優秀賞を受賞した枇杷倶楽部。地元名産の「房州びわ」を使った「完熟びわゼリー」をはじめとするスイーツやデザートなど、オリジナル商品が好評です。

- 営業時間 10:00~18:00
- 定休日 年中無休(レストラン等が一部お休みの場合が数日あり)
- 南房総市富浦町青木123-1
- 0470-33-4611



## 「完熟びわゼリー」

富浦で250年ほど前から栽培されてきた特産の枇杷を使った「完熟びわゼリー」は枇杷のさわやかな香りが口いっぱい広がります。



歴史の跡を求めて車を走らせると、気づかされるのが千葉の豊かな自然です。南房総には地元の特産品を活かした、個性的な道の駅が数多くあります。千葉県初の道の駅としてオープンしたのが「枇杷倶楽部」。花畑を眺めながらくつろげるオープンテラスカフェや貸ギャラリーなどがあり、びわ狩りやいちご狩りなども楽しめます。「鄙の里」は自社工場

義実の居城とされています。麓の駐車場から城址へと続く山道は細く、鬱蒼とした林に囲まれています。標高こそ高くはないものの、敵を拒む道は起伏があり決して歩きやすくはありません。最後の急な階段を上るとそこに小さな展望台が建ち、かたわらに八房の背に乗った伏姫のブロンズ像が建てられています。さらに進むと、山の上に建てられた鉄塔のかたわらには、滝田城址という標識が立ち、もはや城の姿はありません。

物語では里見義実の家臣として、出家して、大法師となった金碗大輔が、住職に納まったとされる寺が延命寺。木々に囲まれた閑静な境内の一角には、里見家の墓がひっそりとたたずんでいます。その里見氏が安房の国を支配する拠点となったのは稲村城です。里山の上には城の姿はなく、わずかに石組みや井戸などが残されるばかりです。



## 農村レストラン カントリーマム

「鄙の里」内にある、三芳地区の有機栽培農園で採れた野菜を使った料理の店。朝獲れ野菜を使った「野菜かき揚げ丼」が大人気。

- 営業時間 11:00~17:00
- 定休日 不定休
- 南房総市川田82-1(道の駅「三芳村」鄙の里内)
- 0470-36-4436



## 道の駅「三芳村」 ひな 鄙の里

三芳地区の酪農家から仕入れる生乳を使ったソフトクリームや、搾りたての牛乳を使った乳製品が自慢。

- 営業時間 9:00~17:00(3月~9月は17:30まで)
- 定休日 不定休
- 南房総市川田82-2
- 0470-36-4116





写真提供 南房総市

### 南総里見まつり

約200人が参加する武者行列パレードの立ち回りや、演舞、合戦などのパフォーマンスは迫力満点。夜には山車や神輿に提灯が灯されて幻想的な雰囲気。今年で34回目となる2015年は10月17日(土)に開催。



### 北条海岸

空気が澄んだ日には北条海岸からは富士山を眺めることができます。夕暮れのその風景は日本の夕陽百景にも選ばれた絶景。

### 勇壮な館山城の中は 八犬伝の貴重な資料が

で作ったオリジナル乳製品や、地元・三芳村でとれた新鮮野菜を直接購入できるのが特色。観光客ばかりではなく、地元の人たちがよく来店することからも、その人気ぶりがうかがえます。

館山の街を見下ろす城山公園の丘の上にあるのが、里見氏の居城の一つ、館山城。城のある山が「館山」の地名の由来となっています。現在の天守閣は1982年に福井の丸岡城を模して造られたもので、その堂々とした姿はやはり壮観です。館山城の中は八犬伝博物館



写真提供 館山市

### 稲村城址

里見義通、義豊の居城だった稲村城。室町時代の遺物も各所にのこり、歴史的にも貴重なスポットです。

●館山市稲

として、八犬伝の版本や名場面の錦絵、登場人物が描かれた風絵、八犬伝の名場面のジオラマなど、さまざまな資料が展示されています。天守閣を見た後に、坂道を下りて立ち寄ってみたいのが、城山公園内にある館山市立博物館本館。里見氏に関するさまざまな展示や、安房地方の歴史や文化を紹介する、歴史ファンにとっては見ごたえのある博物館です。

毎年10月に館山市で開催されるのが、「南総里見まつり」。全国から募った八犬士が参加する戦国武者行列のほか、市内から集まった山車や神輿が練り歩き、まさに八犬伝の舞台を彩るにふさわしい「大イベント」です。フィナーレは花火大会。鏡ヶ浦とも呼ばれる館山湾に打ち上げられては消える花火を、祭りが行われる北条海岸から眺めると、里見氏の栄枯盛衰を物語っているように思われます。